

平成22年度上半期

消費生活相談の概要

平成22年度上半期（4～9月）に、岡山県消費生活センターに寄せられた消費生活相談件数は4,633件で、前年度同期（5,128件）に比べて、495件（9.7%減）減少しています。

主な概要は次のとおりです。

- 1 不当・架空請求の相談件数は、881件と前年同期（1,089件）に比べて、208件（19.1%減）減少しています。また、それ以外の相談件数は3,752件で前年同期（4,039件）に比べて、287件（7.1%減）減少しています。
- 2 相談件数では、「商品一般」の230件が一番大きく減少しており、減少率でも「商品一般」の54.8%が一番大きく減少しています。
- 3 10位のインターネット通信サービスは、85件と前年同期（52件）に比べて、33件（63.5%増）と増加しています。インターネット接続回線に関する相談が多くなっています。
- 4 年代別では、70歳代以上からの相談が最も多く、続いて30歳代、40歳代、20歳代という順序になっています。前年同期に比べて全体的に減少している中で、70歳代以上の高齢者からの相談の全相談件数に占める割合が増加していることが注目されます。

1 相談件数及び内容（※1）

順位	相談内容	件数		
		H22年度（上半期）	H21年度（上半期）	H20年度（上半期）
1	放送・コンテンツ等（※2）	1,001	939	1,159
	うち不当（架空）請求	793	779	996
2	レンタル・リース・貸借	248	276	261
3	融資サービス	241	344	546
	うち不当（架空）請求	21	40	73
4	商品一般（※3）	190	420	460
	うち不当（架空）請求	67	270	259
5	役務その他	176	170	139
6	工事・建築・加工	151	180	169
7	自動車	119	118	134
8	預貯金・証券等	96	83	69
9	健康食品	90	81	115
10	インターネット通信サービス	85	52	—
	その他	2,236	2,465	2,980
	不当・架空請求	881	1,089	1,328
	不当・架空請求以外	3,752	4,039	4,704
	上半期合計	4,633	5,128	6,032

※1）順位は平成22年度上半期のもの

※2）平成20年度までの「他の運輸・通信」が廃止され、それに代わるキーワードとして「放送・コンテンツ等」と「インターネット通信サービス」が新設された

※3）商品・サービスを特定できない不当・架空請求は商品一般に計上



2 年代別相談件数

年度	年齢	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
H22年度	件数	213	577	744	592	575	552	755	625	4,633
	割合	4.6	12.5	16.1	12.8	12.4	11.9	16.3	13.5	100%
H21年度	件数	184	606	868	742	601	603	803	721	5,128
	割合	3.6	11.8	16.9	14.5	11.7	11.8	15.7	14.1	100%